

平成24年度
実施事業

| | |
|-------|----------------|
| 事務事業名 | エゾアワビ種苗放流事業補助金 |
|-------|----------------|

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|---|
| 章 | 3 | 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち |
| 節 | 2 | 自然を活かした産業の育成 |
| 施策 | 1 | 特色ある農業・漁業の推進 |
| 小分類 | 5 | 時代に即した漁業生産の基盤づくり |
| 主要な施策 | 1 | ①資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進 |
| 事務事業番号 | 004 | 事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-------|-------|----------|
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 農林水産グループ |
|-----|-------|-------|----------|

事務事業の概要 《Plan・Do》

| | |
|----------|---|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | いぶり中央漁業協同組合が行う事業を支援することにより、「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」を推進することを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 試験的にエゾアワビの人工種苗を当市海域に放流し、生息環境や放流後の成長・残存等を調査し、増殖の可能性について調査を行ういぶり中央漁業協同組合に対し、事業費の一部を補助した。 【事業実績】 北海道栽培漁業振興公社熊石事業所で生産されたエゾアワビの人工種苗1万個に金属タグを取り付け当市海域の適地に放流 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 一定程度採算性の判断が可能となる平成27年度まで支援の継続を検討する。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 登別市水産業振興対策事業補助規則 |

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H23年度 決算 | H24年度 決算 | H25年度 当初予算 | H26年度 見込 | H27年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 300 | 348 | 354 | 324 | 324 |
| 事業費 合計 | | | 300 | 348 | 354 | 324 | 324 |

指標の推移 《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | 27年度 目標 |
|------|--------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果指標 | ① 放流後の追跡調査回数 | 回 | 目標値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 実績値 | 1 | 1 | | | |
| | ② | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

| 比較 | | 《Check》 |
|---|---|---------|
| 平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 | 左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 | |
| <p>追跡調査の採捕時において、餌が同じであるため天然と人工種苗との区別がつきづらい。また、人工種苗の成長度合いも正確に確認できない。</p> | <p>人工種苗1万個の内、5千個に金属タグを取り付け放流することで、天然と人工種苗の区別や成長度合いを正確に確認することができた。また、密漁防止や産地証明による高付加価値化も期待できる。</p> | |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|-----------------------------------|-----------------------|--------------------------|---|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 市が主体に行うべき事業である | 判断理由及びその他所見 「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」が推進される。 |
| | <input type="radio"/> | ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である | |
| | <input type="radio"/> | ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | |
| | <input type="radio"/> | ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由及びその他所見 当市の漁業形態は、スケトウダラに代表される回遊魚を漁獲する漁業が中心であることから、自然環境の影響を受けやすく、漁家経営の不安定要因となっている。このため、「つくり育てる漁業」の推進が求められている。 |
| | <input type="radio"/> | ② 市民アンケートの結果から必要性が高い | |
| | <input type="radio"/> | ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | |
| | <input type="radio"/> | ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い | |
| 3. 事務事業の効率性について | | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由及びその他所見 いぶり中央漁業協同組合が実施している事業であり、その経費の一部を支援することで高い効果をあげている。 |
| | <input type="radio"/> | ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | |
| | <input type="radio"/> | ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | |
| | <input type="radio"/> | ④ 将来的に効率性を向上できる | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | <input type="radio"/> | ① 成果指標の向上が見られる | 判断理由及びその他所見 追跡調査の結果、殻長30mmで放流した人工種苗は、平均殻長44mmに成長しており、順調に成長しているものと推察される。 |
| | <input type="radio"/> | ② 市民、団体等の声から成果を感じられる | |
| | <input type="radio"/> | ③ 目に見える形で成果があがっている | |
| | <input type="radio"/> | ④ 成果の把握は困難である | |

①担当グループによる評価 《Check》

| | | |
|-----------|----------------------|--|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) | 追跡調査では残存個数の把握は困難であり、実際に漁獲してみなければ採算性の判断ができない状況であり、一定程度判断可能となる平成27年度(平成26年度と平成27年度の漁獲量・漁獲高の推移から判断)まで支援の継続が必要である。 |
|-----------|----------------------|--|

②行政評価会議による評価 《Check》

| | | |
|-----------|----|---|
| 改善 | 備考 | 本事業について、平成27年度まで延長することとし、アワビへのタグの取り付けについては生育状況の把握及びブランド化に資するものであれば、関係機関と協議を行い、取り付けについて再度検討すること。 |
|-----------|----|---|

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

| | | |
|-----------|----|---|
| 改善 | 備考 | 本事業について、平成27年度まで延長することとし、アワビへのタグの取り付けについては生育状況の把握及びブランド化に資するものであれば、関係機関と協議を行い、取り付けについて再度検討すること。 |
|-----------|----|---|

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)